



## 第 8 回

第8回研究発表会を開催するにあたって

新学習指導要領には、改訂のポイントの一つとして「知識の理解の質を高め、これからの時代に求められる資質・能力を育む」ことの重要性が示されています。「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の三つの柱で学びを再整理することが必要になってきます。

これを受けて、関西大学初等部では改めて「資質・能力」を育むための「思考スキルを生かした授業デザイン」について検討し、日々の授業及び授業研究・校内研究会を通して実践・研究を重ねてきました。

開校以来、8年にわたって研究してまいりましたが、課題はまだまだ山積しています。今回の研究発表会においても、日々実践・研究を重ねておられる先生方から、授業及び協議会等での提案内容に対して忌憚のないご意見をいただき、本校の思考力育成の取り組み改善につなげたいと考えております。

お忙しい中、大変恐縮ではございますが、是非とも本研究発表会に足をお運びくださいますよう、お願いを申し上げます。

2017年11月  
関西大学初等部 学校長 田中 達也

## 関西大学初等部

研究主題

**思考スキルを生かした授業デザイン**  
— 資質・能力を育成するために —

- 1 開催日 **2018年2月3日(土)**
- 2 会場 関西大学初等部  
〒569-1098  
大阪府高槻市白梅町7-1  
Tel 072-684-4312
- 3 交通アクセス JR高槻駅より徒歩7分  
阪急高槻市駅より徒歩10分
- 4 後援 大阪府教育委員会
- 5 参加対象者 教育関係者
- 6 参加費 3000円
- 7 申し込み方法 ホームページより (11月13日受付開始予定)  
<http://www.kansai-u.ac.jp/elementary/>

※申し込み締切 2018年1月19日(金)

※撮影はご遠慮ください。※スリッパをご持参ください。

※弁当の予約販売はありませんが、キャンパス内のレストランにて昼食の提供もいたしますのでご利用ください。昼食持ち込みの方のための昼食会場も用意しております。

## 研究発表会

思考スキルは資質・能力の育成に効くのか

本校は、これまで全国に先駆けて思考スキルの研究を行ってきました。思考スキルとは、思考という漠然とした行為を、できるだけ具体的な活動を表す動詞にブレイクダウンして、「何をすれば考えたことになるのか」を示した「思考の方法」のことです。開校8年目の今年度も、高次思考力の育成を目的として、思考スキルの習得・活用をめざした授業デザインの研究を進めています。特に今年度は、思考スキルを生かした授業デザインが、資質・能力の育成にどのように効くのか、という視点から改めて思考スキルの有効性を再検証しています。

このテーマには、思考スキルを生かした授業デザインを、継続して進めていきつつも、資質・能力という新たな視点を物差しとして、これまでの研究を見直していこうという、自己修養の念を込めています。また同時に、昨年度から行っている思考スキルの再考についても継続して検討を行っています。

この第8回の研究発表会では、新学習指導要領の実施より一足早く、育成すべき資質・能力に言及した授業デザインやその評価について提案します。参会者の皆様から、忌憚のないご意見をいただけることを期待しております。

研究主任 古本 温久

受付 教育関係者	全体会 一般受付9:00~	移動 休憩	公開授業①	移動 休憩	公開授業②	移動 休憩	授業①協議会	昼食 休憩	授業②協議会	移動 休憩	シンポジウム	閉会 行事
					中等部考える科				中等部考える科 協議会			

●公開授業①

学年	教科	単元名	授業者	内 容
1年1組	英語	音を比べてみよう	梅本龍多 Steven Wong	単語を聞いて4つに分類し、綴りととの関係を調べます。
1年2組	国語	グループブックトークをしよう	福本 牧	進んで読書し本の内容等を伝える力をつけるため、比べる思考スキルを活用します。2冊の本を比べてブックトークをつくりま。
2年1組	算数	三角形と四角形(発展)	古本温久	ふぎだし法を用いて、図形の構成要素を元にして多面的にみる見方を共有し、発展的な図形の問題を解決します。
2年2組	生活	自分のはっけん	山本直樹	自分のよさや可能性に気付くために、この1年間のできるようになったことをピラミッドチャートを使って組み立てて主張します。

学年	教科	単元名	授業者	内 容
3年1組	国語	イメージを広げよう 『季節の言葉』(古典) 『竹の秋』(説明文)	西 勝巳	語彙力の向上に向けて、イメージを広げる思考スキルを利活用します。歳時記的なアプローチを軸に、古典と説明文を融合させて読んでいきます。
3年2組	算数	文章づくり	今田雅彦	絵を文章に置き換えていきます。友だちとリレー作文で文章をつなげていき、文章題を完成させます。
4年1組	MUSE	自分の意見を伝えるために技を組み合わせよう	山田幸生	様々な問題が描かれた学級図からの情報を分類した後、多面的にみた自分の主張をもとに話し合います。
4年2組	社会	關西大學をつくらた人々	石井芳生	法律学校がなかった時代に本学が創設された理由を多面的にみて、創設者らの努力や人となり等について自分の考えを出し合います。

学年	教科	単元名	授業者	内 容
5年1組	MUSE	頭の使い方を表そう	山本文子	問題に出合い、その解決に向けての自分の頭の使い方を計画シートに表します。
5年2組	理科	電磁石のはたらき	孕石泰孝	知識の構造化をねらい、つなげる思考スキルを使って、鉄芯のない電磁石の磁力の有無を追究します。
6年1組	社会	日本ができる国際協力	小森康裕	今まで日本が行ってきた国際協力をつなげて日本が発展途上国にできる有効な国際協力を多面的にみた上で自分なりの国際協力のあり方を説明したり議論したりします。
6年2組	MUSE	頭の使い方を評価しよう	松本京子	計画シートに表した頭の使い方、情報を整理・分析した結果から、頭の使い方を評価します。

●公開授業②

学年	教科	単元名	授業者	内 容
1年1組	国語	ぼく・わたしの赤ちゃんブックをつくらう 『どうぶつのお赤ちゃん』(説明文)	金本竜一	順序立てて読み書きする力をつけるため、順序立てる思考スキルを活用します。時間的な順序を意識して赤ちゃん説明文を書きます。
1年2組	MUSE	つなげる技をゲットしよう	福本 牧	コンセプトマップの入門として、二つのものを矢印でつなぐ方法を学びます。二つの関係を言葉で表します。
2年1組	MUSE	分類する技をゲットしよう	古本温久	ロイロノートのデジタル思考ツールを用いて、算数の文章問題を分類する活動を通し、分類するための視点の質について話し合います。
2年2組	音楽	ようすをおもいうかべよう	木村三津代	歌詞や音楽を特徴づけている要素からイメージを広げ、そのイメージに合った音をみつけて表現します。
3年1組	MUSE	目的をもって多面的にみる	西 勝巳	道順を正しく伝えるという目的に向けて、多面的にみる思考スキルを駆使しながら、絵地図の情報をポーン図に書きます。

学年	教科	単元名	授業者	内 容
3年2組	英語	数量を意識して使おう	田淵良二 Michael Cafuta 関 温理	可算名詞・不可算名詞の数量表現方法について、実際の形状などをもとに分類し、事例から表現方法の理解を深め、適切に表現しようとしています。
4年合同	総合	台湾ブックを作らう ~世界に広げよう 友だちの輪~	山田幸生 石井芳生	台湾ブックの内容と台湾の人の意見、自分たちの思いをつなげながら吟味し、より良い表現にしていきます。
5年1組	算数	グラフから分かることは?	山本文子	棒グラフや帯グラフ、円グラフの中から、そのグラフの特徴に目を向け、目的に応じたグラフを選択し問題解決につなげます。
5年2組	社会	環境と私たちの暮らし	堀 力斗	総合的な学習で学んだことを活かし、自分たちの身近な地域の環境をつなげ、環境に対し最優先に取り組むべきことを主張します。
6年1組	算数	本当にきまりはあるのかな?	尾崎正彦	これまでに学習したきまり発見の過程が通用しない対象に出合った子どもが、新しい視点できまりを見つける過程を愉しみます。

学年	教科	単元名	授業者	内 容
6年2組	国語	私の「いのち物語」を創作しよう ~立松和乎 いのち物語を読んで~	松本京子	構成を考えて的確に文章を書く能力の育成をねらいます。構造化する思考スキルを生かして創作物語を書きます。
中等1年A組	考える科	調べるミッション ~ポスターセッション型中間報告会~	森 広志	ポスターセッション型で中間報告を行い、互いに評価することによって、これまでの探究活動についてリフレクションします。
中等2年B組	考える科	ディベート大会 ~立論を強化しよう!~	西尾亜友美	ディベートテーマに対する、主張の理由と根拠を批判的にみることによって、より論理的な立論を作成します。
中等3年A組	考える科	いのちの学習 ~余命を告知、そのときに~	釈 慶樹	余命を告知されたときの気持ちを立場を変えて表現し、比較することで自分自身の生き方について追究します。

シンポジウム「資質・能力の育成に効く授業デザインとは(仮)」  
 コーディネーター  
 関西大学総合情報学部教授 黒上晴夫 先生  
 パネリスト  
 文部科学省初等中等教育局視学官 澤井陽介 先生  
 国立教育政策研究所総括研究官 福本 徹 先生  
 國學院大學人間開発学部教授 田村 学 先生  
 埼玉大学教育学部教授 二宮裕之 先生  
 鳴門教育大学大学院学校教育研究科講師 泰山 裕 先生  
 総合司会 関西大学初等部教頭 長戸 基